

2012年テーマ

里山に託す私たちの未来 第9回里山シンポジウム in 市原

里山の魅力発見

～中房総の原風景を支える底力カラ～

房総半島の真ん中、市原市は、古くから文化・流通の要として発展してきました。しかし、昭和30年代以降、臨海部の埋め立てや工場立地により人々の暮らしは大きく変わってきました。さらに、ゴルフ場、住宅開発、残土・産廃により、里山は深刻な危機を迎えました。

そんな中、残された里山を守りたいとの多くの人の思いが形になり、活動が少しずつ広がっています。震災を機に、私たちは、人のつながりやふるさと(コミュニティー)の大切さにあらためて気づかされました。生活の場としての里山は、人の手が加わることで、人がそこで暮らすことで支えられ、輝きを増すものではないでしょうか。今あらためて、里山の持つ力・魅力に気づき、未来につなげていきたいとの思いでシンポジウムを開催いたします。

全体会

2012年5月27日(日) 10時～16時

会場：東海大学付属望洋高等学校 松前記念講堂 参加費500円

9:45	開場	13:00	千葉県森林・林業・里山の現状 千葉県農林水産部森林課
10:00	開会・挨拶 里山シンポジウム実行委員会代表 市原市長 千葉県農林水産部森林課長	13:10	里山保全に向けた市原市の取組み 市原市経済部農林業振興課
10:15	中房総の小さな旅 報告 コメンテーター：小湊鉄道社長 石川晋平	13:20	基調講演 北川フラム
11:30	昼食、ロビーにて交流、パネル展示	14:20	休憩
12:30	映像と音で綴る里山 (演奏：望洋高等学校吹奏楽部、展示：生物部)	14:30	パネルディスカッション パネリスト：遠山あき(農民文学者) 林秀一(上古敷谷里山の会 代表) 佐久間隆義(市原市長) コーディネーター：高橋和靖(おとずれ山の会)
		15:40	質疑応答
		16:00	閉会

中房総の小さな旅

第9回里山シンポジウム主催事業として小湊鉄道沿線の里山を歩く「小さな旅」が開催されています

- 4/7(土) 1都10県を見はるかす御十八夜(おじゅうはっちや)からの眺望
- 4/14(土) 手つかずの古墳群・古城址を巡る
- 4/21(土) 新緑の養老溪谷を歩く素掘りトンネルと不動の滝
- 4/28(土) 菜の花の小湊鉄道沿線を歩く波の伊八に出会う旅
- 4/29(日) 古代市原 発見ウォーク <国分寺“北斗七星”>
- 5/12(土) 懐かしいふるさとの味と野鳥さえずる市民の森散策

分科会

千葉県各地で今後開催される予定です。詳細は公式HPでご覧下さい

- 秘境探検
- 生物多様性の米づくり・里山バンキング
- 森林療法ワークショップ
- 里山発、アートを通じて心を繋ぐ
- トキ(鴉)よ よみがえれ ～日本の太平洋岸環境の生息地 市原の苔畑田の生物多様性～
- 山武杉の資源循環再考
- コウノトリ復活をシンボルに里山の生態系を復元する
- 里山、いきもの、こころ
- 三番瀬の遠り鳥と縄文の鳥の骨
- 印刷用への水質浄化と着者の雇用確保のための地域再生活動
- 里山で旬の山野草を楽しむ活動
- 上総掘りと周辺里山整備活動
- カタクリなど自生希少種の保全
- 里山で健康づくり
- 里山で俳句を楽しむ
- 映像と音で綴る里山
- 散在する市有林の地域連携による整備活動
- 里山で生活を考える

交通アクセス

会場：東海大学付属望洋高等学校 ■所在地 〒290-0011 千葉県市原市能満1531

一般路線バス(小湊バス)

- JR内房線五井駅西口(一部東口)→こどもの国行(20分)「望洋高校入り口」下車
- JR内房線八幡宿駅→こどもの国行(20分)「望洋高校入り口」下車

駐車場が限られていますので公共機関利用または相乗りでお越しください

行き	【JR五井駅発】	【JR八幡宿駅発】
	東口④ 西口①	西口①
	7:53 10:31 11:48	7:25 9:00 9:45 10:20 10:55 11:45
帰り	【JR五井駅行】	【JR八幡宿駅行】
	望洋高校	望洋高校
	16:41	16:08 17:08 17:31



昼食・学食をご利用ください 上履き持参

